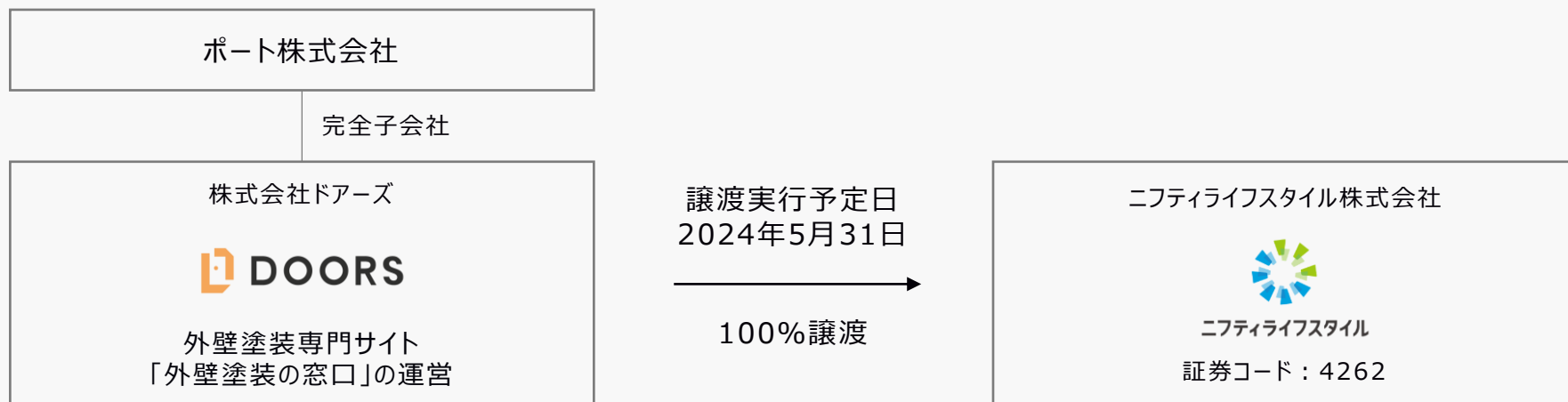


PORT INC.

株式会社ドアーズの 株式譲渡に関する補足説明資料

ポート株式会社 証券コード：7047

2024.5.13



1

外壁リフォームの成約支援事業を展開する株式会社ドアーズの全株式を、24年5月31日（予定）をもってニフティライフスタイル株式会社へ株式譲渡。

2

24年6月1日より当社連結子会社から除外。IFRS会計基準においては、非継続事業の分類となり、今期4月及び5月分の業績の取り込みも無し(当該2か月間の最終利益のみ取り込み)。

3

譲渡実行前のポートへの配当2億円の実施及び譲渡対価の17.5億円(総額19.5億円)により財務体質が改善見込み。関係会社株式売却益の影響は軽微。

当社の事業に対する投資方針

各事業領域ごとの投資、撤退に関する基準を明確化し、規律を持った事業運営とリソースの最適配分を行なうことで、継続的な高成長の実現を目指す。当中期経営計画期間においては、主に下記の3つの定量要件を重視。

投資時・撤退時における定量的な判断基準例

成長率要件

売上収益CAGR

30% 以上

貢献度要件

グループ業績への貢献

10% 以上

(売上収益及び利益基準)

規模要件

単一事業売上

100億円以上を見据える

(市場規模と事業ポテンシャルの両面から見た将来的な可能性)

ドアーズ社の業績推移

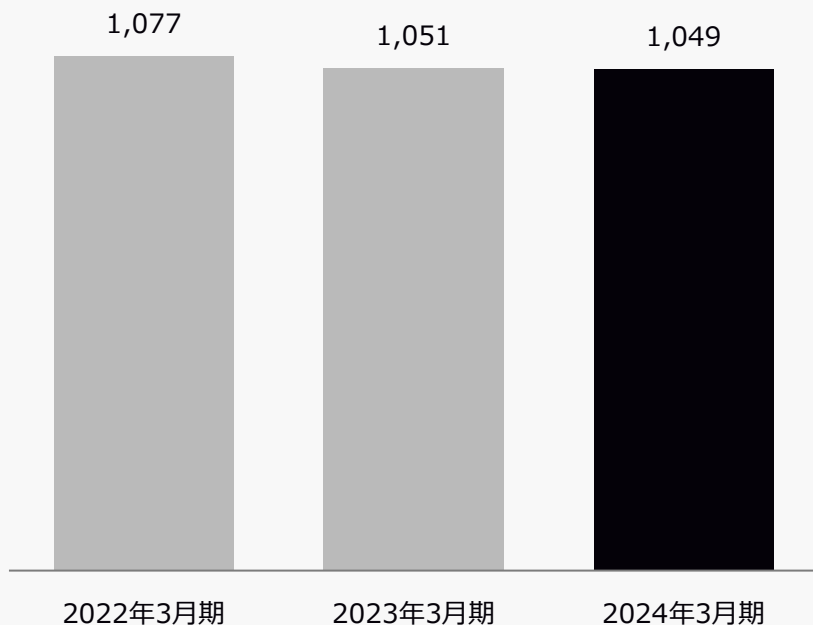
安定的な利益創出を実現しているものの、当社の中期経営計画期間における連結売上成長率ガイドライン (CAGR30%以上) 及び連結業績におけるシェア10%を下回っている状況にあった。

ドアーズ社単体実績

売上高

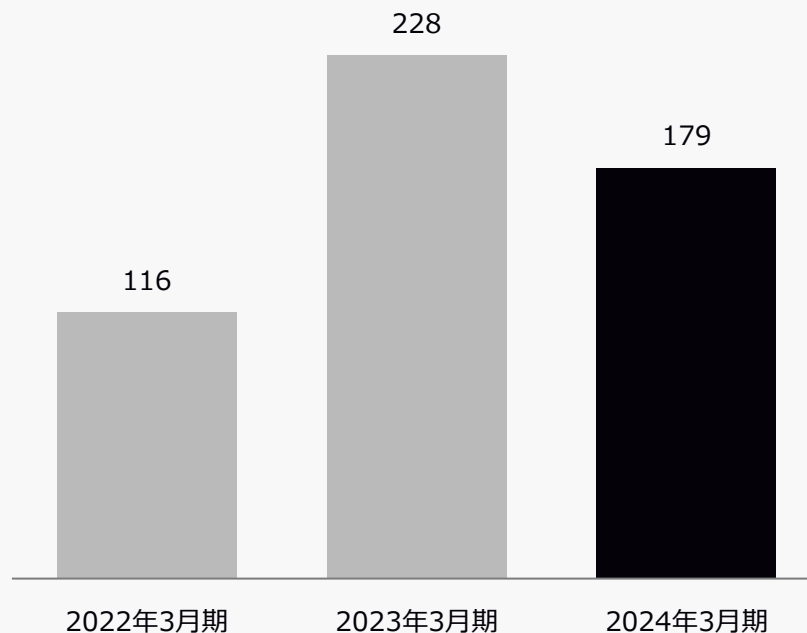
単位：(百万円)

直近3か年CAGR▲1.3%



EBITDA

単位：(百万円)



株式譲渡の背景

人材・エネルギー領域を主力事業に定め、ガイドラインを下回る事業については選択と集中を行い、成長事業への積極投資により資本効率の最大化に努める方針。中期経営計画期間中の売却は本件を含め3件目の実施。

選択と集中によりCAGR30%以上を実現

人材領域

24.3期実績
売上収益 YoY+42%
事業利益 YoY+34%

エネルギー領域

24.3期実績
売上収益 YoY+90%
事業利益 YoY+72%

本中期経営計画期間におけるコーポレートアクション

2024年3月期

- Five Line 完全子会社化 取得価額8.6億円
- inō 完全子会社化 取得価額18.1億円
- Fufurizm 株式譲渡 譲渡価額2.5億円
- Matcher 資本業務提携 取得価額1.7億円

2025年3月期

- みん就 連結子会社化 取得価額22.5億円
- net vision Academy 事業譲渡 譲渡価額2.5億円
- DOORS 株式譲渡 譲渡価格17.5億円 ※配当考慮後19.5億円

売上収益
113億円

EBITDA
20億円

売上収益
250億円

EBITDA
40億円

将来収益込み
EBITDA
48億円

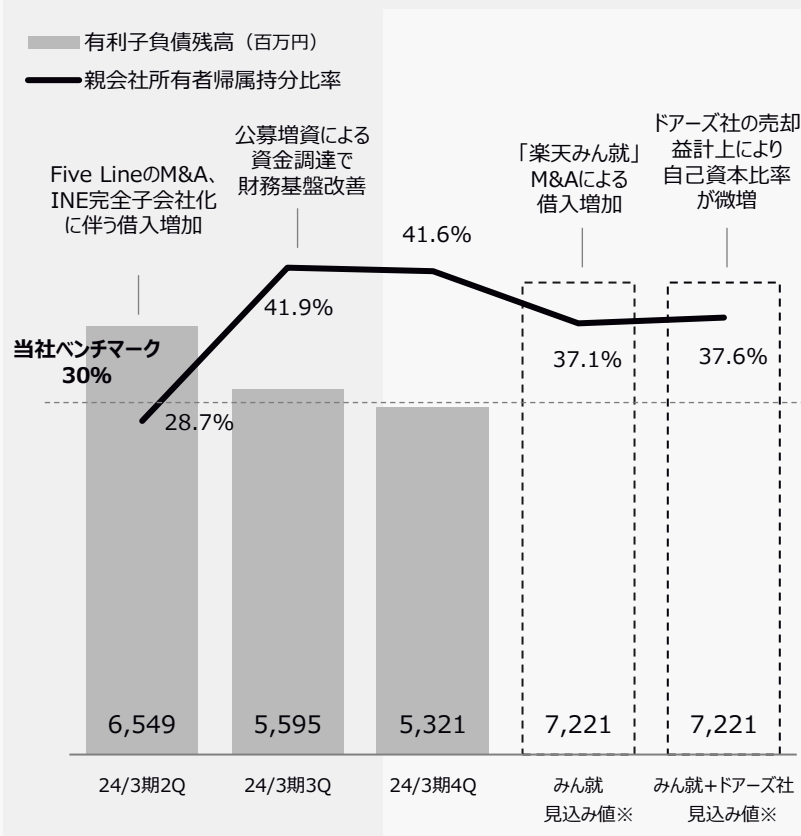
2023年3月期
実績

2026年3月期
中期経営計画目標

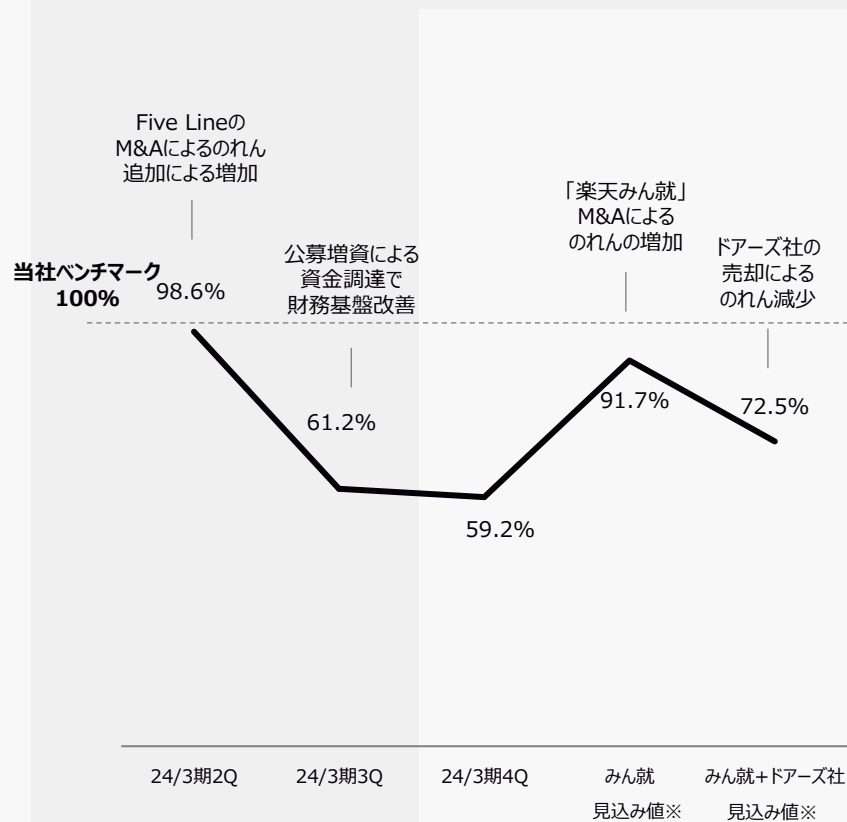
財務インパクト

本譲渡により、のれん純資産倍率等の財務バランスは改善。譲渡実行前のポートへの2億円の配当を含む実質的な譲渡価額は19.5億円で、ドアーズM&A時（16億円）から3.5億円の価値向上を織り込んだ価額。

有利子負債残高・親会社所有帰属持分比率 (自己資本比率)



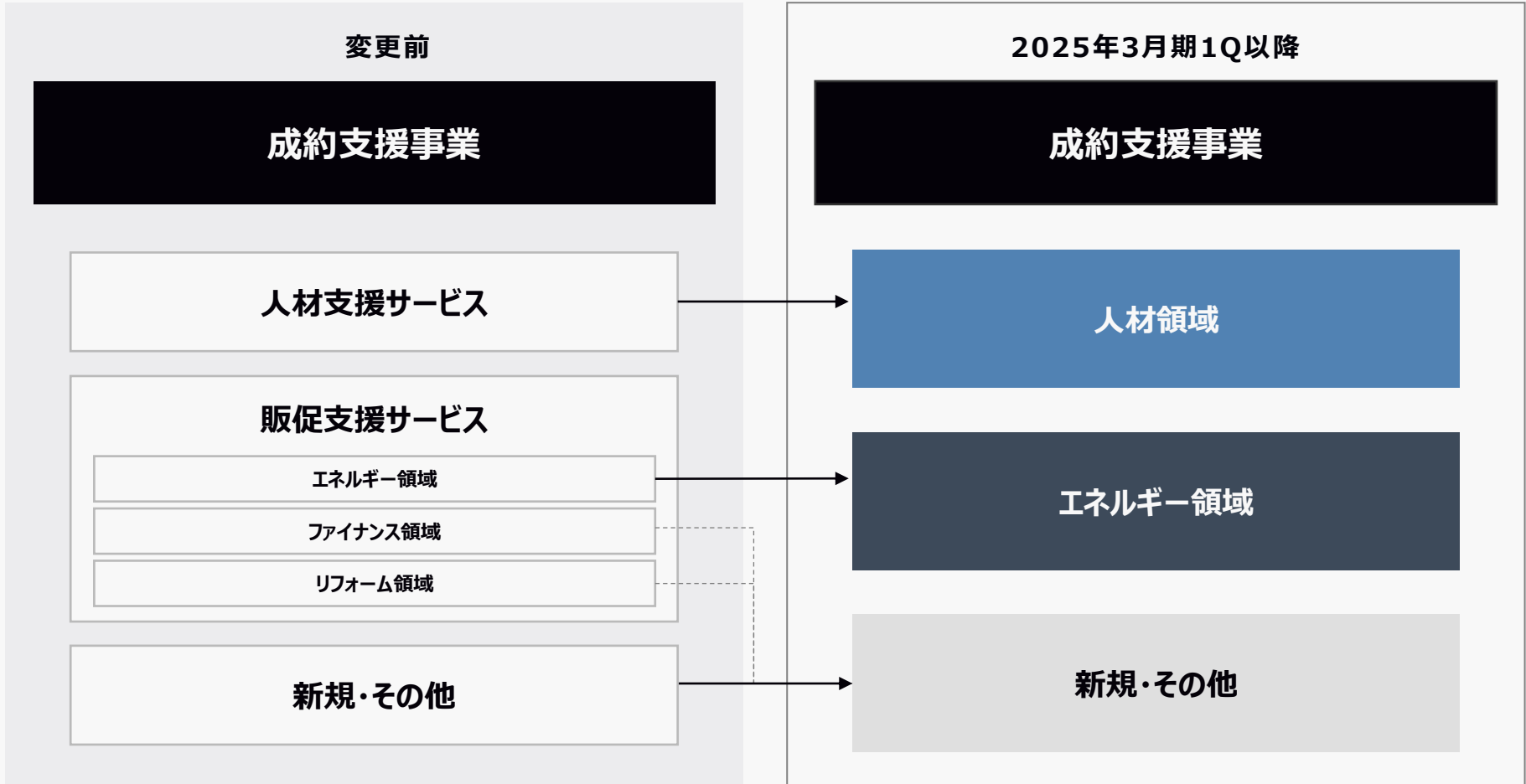
のれん/親会社所有帰属持分比率 (のれん純資産倍率)



※ 24年3月期4Q（2024年3月末時点）数値に、対象会社を加算したイメージであり、精緻にPPAや当社連結対象として算出した数値ではありません。

今期の開示区分の変更

人材領域・エネルギー領域を主力事業としたうえで、現在の事業実態をより適切に示すために開示区分を2025年3月期から変更を予定。



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。
- これらは現在における見込み、予想及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

PORT INC.

社会的負債を、次世代の可能性に。